

記者発表：徳島県政記者クラブ

令和3年8月16日  
四国地方整備局  
小松島港湾・空港整備事務所

## 地元高校生が徳島の港や安全で美しい海を守る取組みについて学びます ～海上からのみなど見学や海洋環境整備船「みずき」の船内見学も行います～

小松島港湾・空港整備事務所では、私たちの暮らしを支える港湾や空港の整備のほか、海の安全と環境を守るため、海洋環境整備船「みずき」による海面浮遊ゴミの回収活動を日々行っています。このたび、徳島県立小松島高等学校の生徒を対象に出前講座を実施します。本講座は、同校の生徒が取り組んでいる研究・調査活動の一環として例年実施しているもので、座学による学習と併せて海上からのみなど見学や「みずき」の船内見学を行い、現場を肌で感じることで、港湾整備や海洋環境保全への理解を深めます。

当事務所では、安全で利便性の良い港を目指した港湾整備や、海洋環境整備船「みずき」の担務海域において、船舶の安全な航行や海洋環境に支障を来す恐れがある海面浮遊ゴミの回収活動を日々実施しています。

一方、徳島県立小松島高等学校では、横須松原で平成11年から22年にわたり「松原の育樹ボランティア活動」を行い、一時は激減していた松原の復元に取り組んでいます。また、横須海岸で例年実施されている清掃活動（リフレッシュ瀬戸内）にも参加するなど、地元の環境保全に取り組んでおり、現在のコロナ禍においても新たな取り組みを考えているところです。また、このような生徒たちの活動が、地域の環境や自身の生活にどのように繋がっているのか調査・研究をしています。

本講座において、港湾整備や海洋環境保全の必要性・重要性を学ぶことで、港の役割や近年の海洋ゴミなどの環境問題への理解を深めます。

日 時：令和3年8月23日(月)

(当日の予定スケジュール)

13:50 小松島港湾・空港整備事務所金磯分室集合

14:00 金磯分室会議室

(港の役割、港湾整備、海洋環境保全の重要性の学習)

14:50 金磯分室ポンツーンへ移動

(「ひのみね」によるみなど見学、「みずき」船内見学)

15:55 質疑応答等

16:30 終了、解散



港湾業務艇「ひのみね」



海洋環境整備船「みずき」

場 所：〒773-0007 徳島県小松島市金磯町3-52 (※詳しくは別紙2参照)

注意事項：○当日の気象状況等により、実施内容を変更する場合があります。  
○スケジュールは、多少時間が前後する可能性があります。  
○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日はマスク着用をお願いいたします。  
また、ご来場いただく前に検温していただき37.5度以上の発熱、風邪症状（咳・のどの痛み・下痢・嘔吐・体のだるさ（倦怠感）等）、体調不良の場合は参加をご遠慮願います。なお、マスク関係者の人数調整等を行う場合があります。

【取材申込】取材を希望される方は下記メール又はFAXで別紙申込様式にてお申込みください。  
なお、申込期限を8月20日（金）17時迄とさせていただきます。  
また、会場までの移動については各自で対応をお願いします。

【問い合わせ先】 ○：主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

副 所 長 岩本 英浩

○企画調整課長 六車 晋助

TEL：0885-32-3855 FAX：0885-35-0010

メール：pa.skr-kmjm-i88s3@mlit.go.jp

小松島港湾・空港整備事務所

企画調整課 宛 (FAX : 0885-35-0010)

## 取材申込書

※中止時には記載のご連絡先に連絡致します。

8月20日(金) 17時までにメール又はFAXで申込みください。

貴社名		
連絡先	TEL :	FAX :
代表者		
取材者		
連絡事項 など		

※メールでのお申込みの場合は上記事項をメールに記入していただき、メール送信にてお申込みをお願い致します。(メール : pa.skr-kmjm-i88s3@mlit.go.jp)

# 開催場所 位置図

別紙2



小松島港湾・空港整備事務所 金磯分室  
住所:小松島市金磯町3-52

出典:国土地理院ウェブサイト

# 港湾業務艇「ひのみね」

別紙3



## S H I P - D a t a

総トン数：19GT

最大航海速力：26.3ノット

最大搭載人員：20名

全長16.7m/型幅4.2m/型深さ2.0m/喫水：0.62m

建造：平成28年7月

船籍：小松島市

所属：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

## ～「ひのみね」のお仕事～

小松島港湾・空港整備事務所の3代目の港湾業務艇。

海底の地形が一目でわかる探査装置が設置されています。この装置により、災害時でもすぐに被災現場の海中の状況を確認することができるので、緊急物資輸送の海上輸送などにおいて活躍が期待されています。

日頃は、港湾工事のための測量を行ったり、海上の工事現場への輸送などを行っています。



# 海面清掃兼油回収船「みずき」

別紙 4

## SHIP - Data



総トン数：154GT

最大航海速力：14.65ノット

全長29.5m/全幅11.6m/深さ3.8m/喫水2.1m

装備：塵芥コンテナ2基、多関節クレーン（チェーンソー付）1基、  
放水銃2基、ダビットクレーン1基

建造：平成10年1月

船籍：小松島市

所属：国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所

## ～「みずき」の仕事～

小松島港湾・空港整備事務所の2代目の「海のお掃除船」

紀伊水道西部海域と播磨灘南部海域の安全と環境を守るために、海に浮かんでいるゴミや油の回収を行っています。特徴は、大きな流木を素早く処理するために、船に装備されているクレーンで流木をつかみ、チェーンソーにより切断して回収することができます。

平成23年3月の東日本大震災の際には、宮城県仙台塩釜港沖まで遠征し、津波で流れ出たゴミの回収を行い、活躍しました！

平成28年7月からは、担当している海域に”緊急確保航路”が指定されたことで、災害時の海上物資輸送ルートを早期に確保するための取り組みを行っています。

緊急確保航路とは・・・東日本大震災では発生した津波により、大量の貨物が流出し、航路を塞いだことで、緊急物資輸送船をはじめとする船舶の航行が、困難となりました。この教訓を踏まえ、平成25年6月に港湾法が改正され、非常災害時に港湾に至る船舶の交通が困難となる恐れのある水域について、緊急確保航路として指定することとなりました。災害が発生した際には、国が緊急確保航路において迅速に啓開作業を行うこととしています。

